

「歯科における明度って何だ?!」

臨床時に前歯部のポーセレンの色調の明度のコントロールが適切に調整できなかった場合には、再製作を余儀なくされる場合が多く、明度のコントロールは我々歯科技工士にとって未だに頭を悩ます課題である。ここに関しては明度に関しては学術でも整理されておらず、一般臨床においては曖昧な対象法で、患者、歯科医師に無理に納得してもらうことが多いのではないのかと想像できる。

色彩学で言われている明度は「白~黒」と表現されるがあくまでもこれは二次元の世界での話であり、今まで我々はそれに疑問に感じることもなかったし、そこに触れた論文も過去において見当たらない。

しかし、我々は立体物を製作しているわけなので、この二次元の明度を当て嵌めることによりいろいろと問題が生じ、なかなか思うように解決することはできないのである。

そこで今回は臨床における明度の考え方、明度のコントロールの仕方をお話ししたいと思う。

また、後半ではこの講義の考え方を基本とした多色築成の実技を行いたい。